



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和3年7月16日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2021年第27週
(7/5~7/11)
6月報合併号

<情報編>

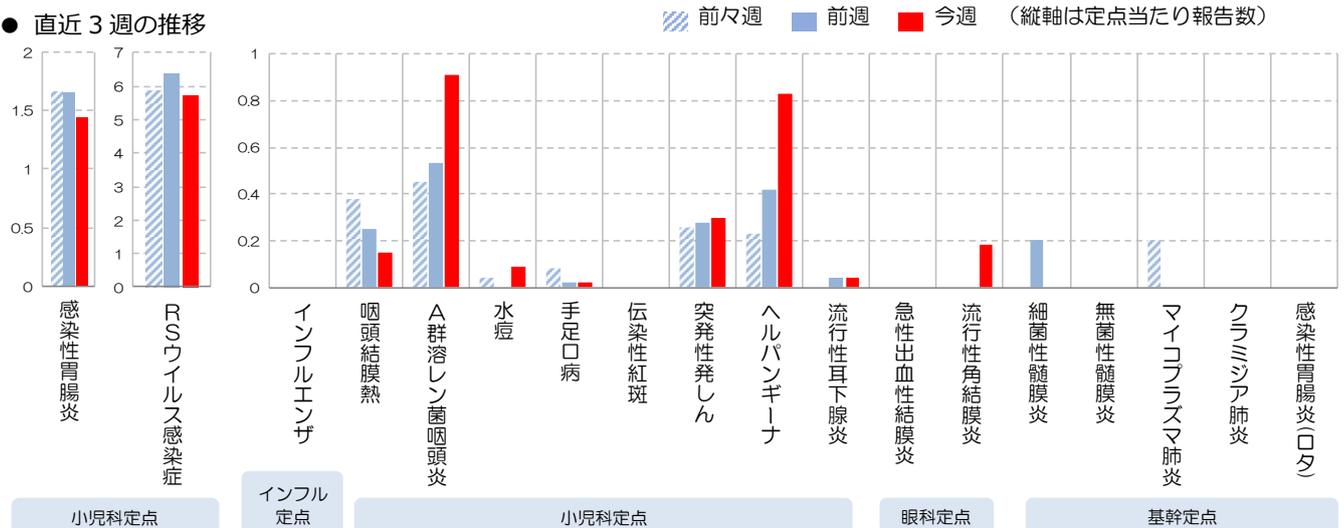
今週の主な動向

- 新型コロナウイルス感染症について、数は少ないながら発生報告は続いています。
- RSウイルス感染症について、発生報告数は依然高い状態で推移しています。
- ヘルパンギーナについて、季節性の流行の兆候がみられます。

定点把握対象疾患

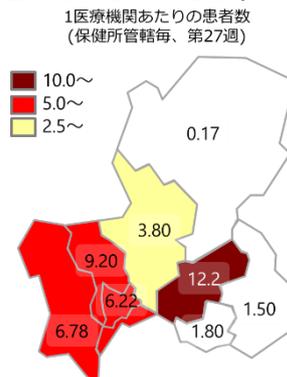
<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

● 直近3週の推移



トピック：RSウイルス感染症

RSウイルス感染症が岐阜県内で現在非常に流行しており、流行の規模を示す1医療機関あたりの患者数が5月下旬以降高止まりしている状況です。重症化するリスクの高い乳児や、基礎疾患をお持ちの小児あるいは高齢者と接する際は、飛沫感染と接触感染への対策を心掛けるなど、ご注意ください。



全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 5例
- 3類感染症：なし
- 4類感染症：レジオネラ症 2例

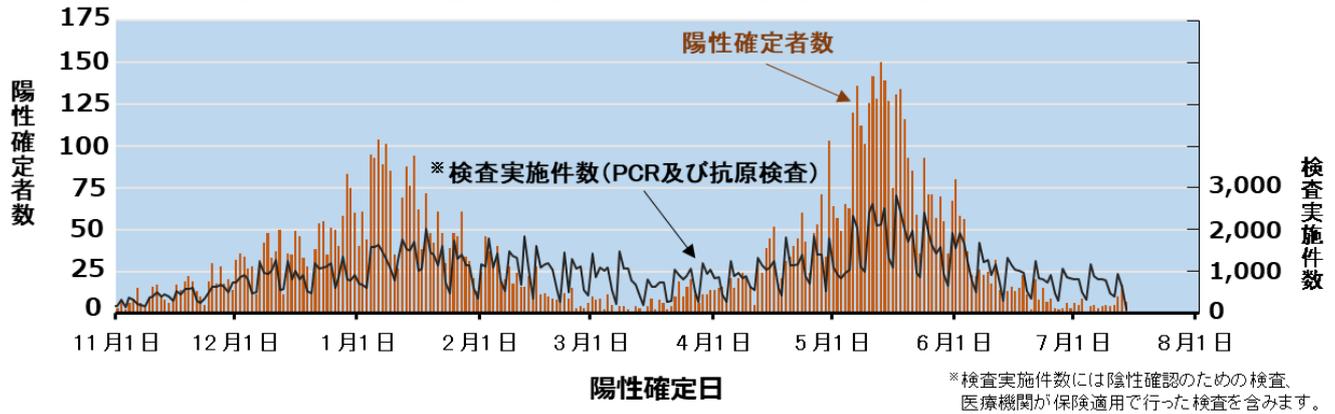
- 5類感染症：梅毒 1例
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 30例 (7/5~7/11(陽性確定日による集計))

トピック：新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(岐阜県内検査分)について、陽性確定者の総数は9346人(県外居住者122人含む)となりました(令和3年7月15日17:00現在のデータによる)。そのうち近日分のデータをグラフ化すると次頁のようになります。

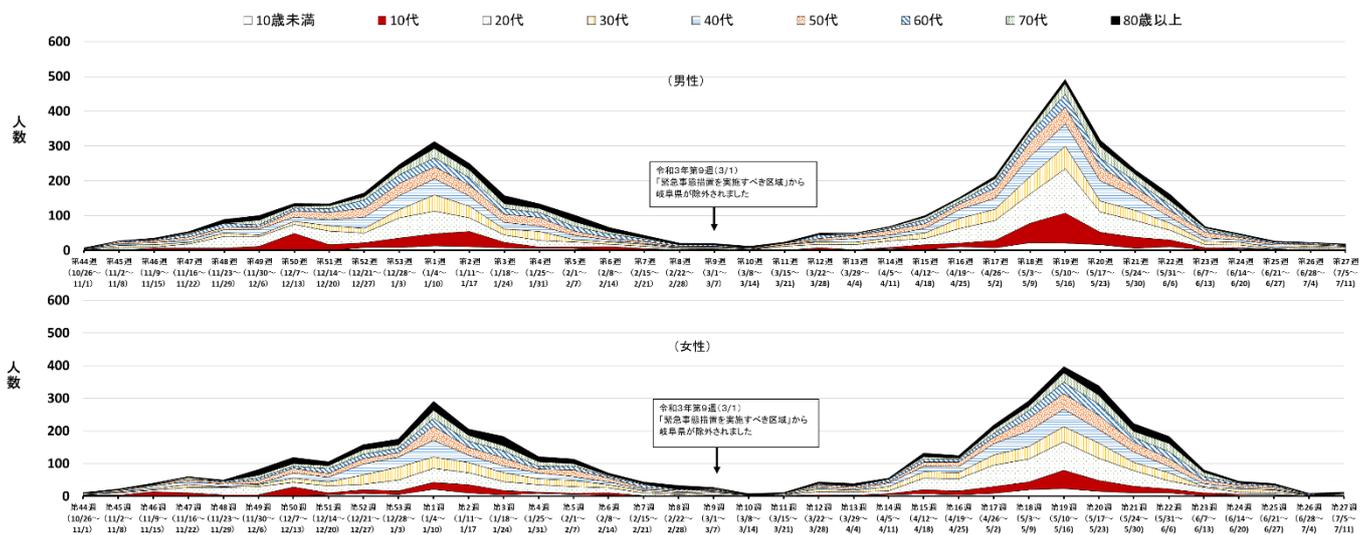
<情報編>

新型コロナウイルス感染症の陽性確定者数と検査実施件数の推移(岐阜県内検査分)



令和3年第27週の報告数は30人であり、先週と同定度となりました。しかし全国規模では感染が再拡大している地域があり、また感染力が強いとされるデルタ株への置き換わりも進んでいる状況です。そのため、今後岐阜県においても発生報告数が増加に転じる可能性が十分考えられ、リバウンドが起こらぬよう感染予防対策を継続する必要があります。県民の皆様にはなおご不便をおかけすることになりますが、密閉・密集・密接（3密）の条件を避けること、マスクを着用すること、手洗いの習慣化を基本とし、感染拡大エリアとの往來の回避や多人数での長時間に及ぶ会食を避け、体調が悪い時には外出を控えるなど、感染対策へのご協力をお願いいたします。

第3波後の岐阜県における陽性確定者発生数の推移(週別・年代別)



(参考) 岐阜県 HP「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26547.html>

(参考) 岐阜県 HP「岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/>

※厚生労働省が提供する新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況と、ウイルスの変異についての解説です。

・「(2021年7月版) 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識」厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000788485.pdf>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出は控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件（3密）を避けることが重要です。

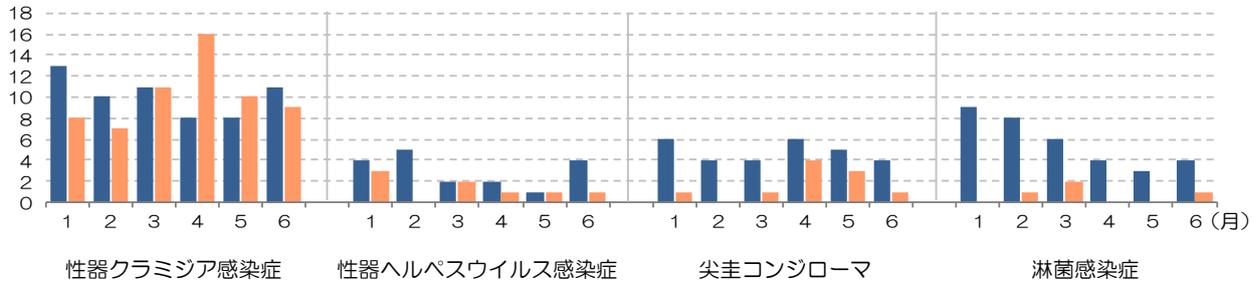
今月の主な動向

・目立った動向の変化はみられません。

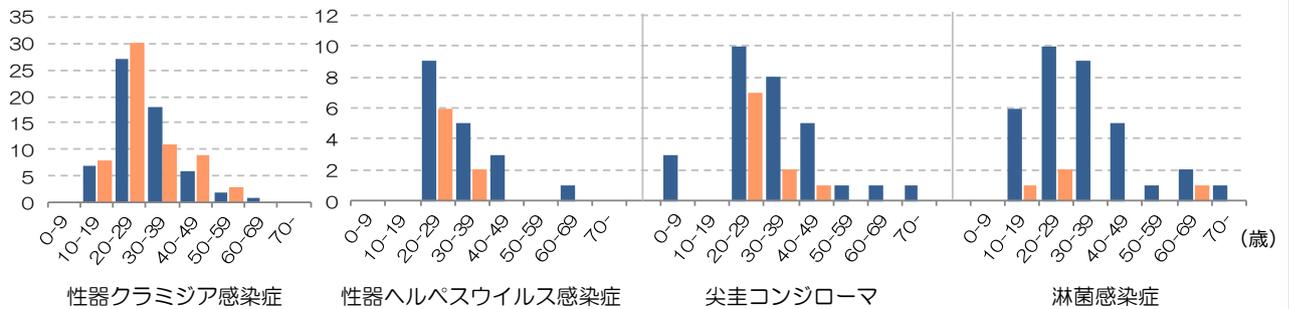
定点把握対象疾患

性感染症 <STD 定点：15 か所>

● 直近 6 ヶ月の推移



● 年齢階級別患者報告数 (直近 6 ヶ月累計)



薬剤耐性菌感染症 <基幹定点：5 か所>

● 直近 6 ヶ月の推移



病原体検出情報

● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況 (7月12日現在結果判明分 (新規検出分) : 月は採取月を示す)

| 臨床診断名 | 病原体名 (遺伝子検出を含む) | 4月 | 5月 | 6月 |
|--------------------|--|----|----|----|
| RS ウイルス感染症 | RS ウイルス B 型 | | | 1 |
| 感染性胃腸炎 | ノロウイルス GII | | 1 | |
| 腸管出血性大腸菌感染症 | <i>Escherichia coli</i> O157:H7 VT1&2 | | | 3 |
| E 型肝炎 | E 型肝炎ウイルス 3 型 | 2 | | |
| | E 型肝炎ウイルス型別不能 | 1 | | |
| カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | <i>Klebsiella aerogenes</i> カルバペネマーゼ非産生 | | | 1 |
| | <i>Serratia marcescens</i> カルバペネマーゼ非産生 | | 1 | 1 |
| 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | <i>Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis</i> | | | 1 |

※詳細は HP をご覧ください (毎週更新)。 <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/107047.html>